

## 平成25年度第4回子育てサポート企業認定書交付式の概要

平成25年11月13日、埼玉労働局において平成25年度に認定マーク「くるみん」を取得した2社を対象に、認定書交付式を開催いたしました！



左より、代田埼玉労働局長、AGS(株) 石井常務、三州製菓(株) 齊之平社長

認定書交付式には、次の2企業より代表の方にご参加いただきました。

AGS株式会社	取締役常務執行役員	石井 進 氏
三州製菓株式会社	代表取締役社長	齊之平 伸一 氏

代田埼玉労働局長より、上記2社の代表の方に認定書を交付しました。

交付式の後には、各企業の代表及び両立支援策の担当者の方と労働局で懇談を行いました。子育てサポートの取組のほか、女性の活躍推進に取り組んでおられる2社に、両立支援策や女性の活躍についてお話をさせていただきました。

両社の女性の活躍推進については、「女性の活躍推進宣言コーナー」をご覧ください。

AGS株式会社 [http://www.positiveaction.jp/declaration/add/search\\_detail/?id=392](http://www.positiveaction.jp/declaration/add/search_detail/?id=392)

三州製菓株式会社 [http://www.positiveaction.jp/declaration/add/search\\_detail/?id=1](http://www.positiveaction.jp/declaration/add/search_detail/?id=1)

各企業のお話の概要は、次ページでご紹介します。



取締役常務執行役員 石井 進

## 》》 AGS株式会社

業 種:情報通信業

所 在 地:さいたま市

従業員数:691 人

認 定 日:H25.8.30 認定

- 当社は、能力主義・実力主義の IT 会社ですので、普段から男女を意識することなく仕事をしています。一方で、女性の場合はライフステージの変化により負担が増えていく中で、どう仕事と家庭のバランスを取るかということが課題です。会社としてはできる限り業務の仕組み・運用の中でカバーして、優秀な女性ができるだけ長く活躍できることを目標にしています。女性の管理職はまだ少ないですが、20～30 代の約 4 割が女性で、女性の半分は既婚、既婚女性のうち 6 割はお子さんがいます。こういった人たちが次のステップへ、管理職へと活躍のフィールドを広げていくことを目指していければ、企業も活性化していくのではないかと考えています。
- 仕事を休む、時短で働くということは、業務に穴があきますから、企業努力として、対応力は持つておかなければなりません。例えば、カバーする人材の多能化などの仕組みが必要です。
- 時短勤務者の時間単位のコストパフォーマンス、業務効率は極めて高いです。5 時になったら帰らなくてはいけないとか、朝 9 時からしか働けないといった限られた時間の中で、しっかり仕事をしようとする集中力は、他の社員も見習わなければならないのではないかと思います。
- くるみん取得は、目標ではなく通過点と捉えて、今後も積極的に女性の仕事と家庭の両立支援に取り組むつもりです。

## 》》 三州製菓株式会社

業 種:製造業

所 在 地:春日部市

従業員数:228 人

認 定 日:H25.9.4 認定

- 当社は、春日部で主にせんべいの製造販売をしている会社で、女性比率が非常に高いという特徴があります。日頃から接していて、女性は大変潜在能力が高いと感じますので、この潜在能力を是非引き出したいと思い、女性の活躍推進に力を入れています。
- 女性の管理職比率は現在 20%ですが、35%を目指しています。女性が、子育て等でキャリアが途絶えないよう継続勤務していただくため、短時間の正社員やフレックス制度を進めています。
- これから女性が活躍するとなると、家事の分担でも、男性の協力が必要になりますから、そういう点でも男性の育児休業取得を、会社として後押ししなければと思っています。黙っていると男性は育児休業をなかなか取らない。機会がありましたら、社長室で話をし、また、取りやすいような有給休暇など法定外の制度も付けました。
- 急に休んでも業務に支障がでないようにできれば、本人も休みやすくなると思います。休みやすいような体制を作るため、当社では、一人が主な仕事以外に、二つの代わりに仕事ができる能力を身に着ける、「一人三役」という運動を推進しています。



代表取締役社長 齊之平 伸一氏

## 》》 代田局長より



- 厚生労働省としては、女性の継続就業、女性の管理職増加などの女性の活躍推進の取組を進めています。現状、女性が働き続けるためには、企業には育児のための制度に配慮していただくことが必要です。一方で、社会全体でも、まだまだ「育児休業は女性が取るものだ」という感覚があります。男性と女性の役割の固定化については、男性が育児休業することが、男性と女性の役割分担について話していただくきっかけになるのではないのでしょうか。
- 目指すものが複数ある方が参考になりますから、両社をロールモデルの一つとして、ぜひ情報提供をさせていただきたいと思います。

## 》》 認定企業から、これから取り組む企業の皆様へ！

### AGS株式会社 石井常務

会社として明確に方針を示し、現場で具体的に行動として反映できるような「見える化」をすることが一番必要だと思います。また、これからの日本の労働力問題では高齢者とともに女性が戦力になるという認識を、会社全体で共有化していくことも重要だと思います。

### 三州製菓株式会社 齊之平社長

社長がリーダーシップを発揮して、「女性の活躍推進を促進する」ということを宣言することがまず大事だと思います。当社では宣言をし、それを補うものとして社内委員会を作り、一人一人の子育て中の人をサポートしています。



認定企業の皆様、  
貴重なお時間をありがとうございました！

## <認定企業の概要>

(申請日順)

### 1. AGS株式会社

#### (情報通信業 さいたま市 従業員数 691 人)

出産・育児に関する制度について「ガイドライン」の作成、仕事と育児の両立支援についてセミナーを実施するなど両立支援制度の周知啓発に取り組んだほか、在宅勤務制度を導入する等、制度の充実を図っている。また、連続休暇の取得推進や、毎週の全社一斉退社日の設定など、メリハリのある働き方を意識して日々の業務を行えるよう取り組んでいる。

#### 【達成した目標】

- ① 時短勤務者のキャリアパス形成に向けた「仕事と育児の両立支援セミナー」の実施、在宅勤務制度や時短勤務、半日単位での子の看護休暇、フレックスタイム制度、時間年休等の利用促進について社内電子掲示により周知し、柔軟な働き方を支援する制度の活用を促進。
- ② 管理者研修等における時間外管理教育の実施、社内電子掲示による定時退社日・年次有給休暇取得推進の周知により、総労働時間の削減、年次有給休暇の取得促進を実施。
- 育児休業等利用状況(男性の育休取得者 1 名、女性の育休取得 100%)

### 2. 三州製菓株式会社

#### (製造業 春日部市 従業員数 228 人)

社内に「男女共同参画推進委員会」を立ち上げ、委員会を中心に、仕事と家庭の両立支援に関する勉強会を行う、残業削減等の呼びかけを行うなど、継続的に周知啓発を行っている。また、会社独自の「一人三役」(社員が他の社員の担当業務をこなせるようにする仕組み)により、育児・介護休業がとりやすい職場環境にしている。

(平成 25 年度「均等・両立推進企業表彰」均等推進企業部門労働局長優良賞受賞企業)

#### 【達成した目標】

- ① 男女社員が育児休業しやすい環境の整備のため、育児休業や相談員設置について職場内での掲示により周知し、男性の育休取得者 2 名、女性の育休取得率 100%を達成。
- ② 社員のニーズに合ったワーク・ライフ・バランスの推進のため、介護に関するアンケートの実施、ノー残業デーの実施、育児・介護休業の概要資料等の各部署への設置等による周知を実施。
- ③ ポジティブ・アクションの推進のため、女性の活躍推進に積極的に取り組み、女性マネージャー1 名が誕生。